

校訓

努めてやまず

湖東中学校区の目指す生徒像

意欲をもって学び続ける子

湖東中学校区の道徳重点目標

「人間愛・思いやり」

「生命尊重」

「希望・勇気・強い意志」

学校教育目標

意欲をもって挑戦し自己表現できる生徒

学校経営目標 「湖東中は未来の私たちの出発点」を合言葉に、生徒一人一人の居場所と出番づくりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力（基礎的・汎用的能力）をチーム湖東で育成し、みんなで幸せになる。

目標到達のために育てる4つの力（キャリア教育の視点）

つながる力

人間関係形成・社会形成能力

- 1 湖東中生徒として誇りある生活をさせます
- 2 生徒会活動で学校を元氣にします
- 3 地域に学校を開きます

みつめる力

自己理解・自己管理能力

- 1 学校教育目標を踏まえ、学習の基本事項を意識し、授業への取り組みを高めます
- 2 「生徒理解」を基盤とし、一人一人に合った支援を行います
- 3 心身共に健康な生徒を育てます

挑戦する力

課題対応能力

- 1 「他者との対話力」を高める学習活動を進めます
- 2 成就感を得られる授業を目指します
- 3 生徒の活躍の場を推奨した行事を実施します。

みとおす力

キャリアプランニング能力

- 1 夢をもち、生き方を考える学びを推進します
- 2 道徳科の授業を大切にします
- 3 「人とふれあい、生き方を考える」総合的な学習の時間を推進します

生徒を育てるためのアプローチ（活動や指導）

- ・いじめのない学校を目指します。
- ・生活アンケートを年間 回実施し、安心・安全な環境を整えます。
- ・正しい身なり、時と場に応じた言葉遣いを指導します。
- ・自らすすんであいさつができる習慣を身につけさせるとともに、大きな声で返事ができるように指導します。
- ・生徒による実行委員会を組織し、行事を行うことで、学校に活気をもたせます。

- ・授業の中で、しっかりした受け答えができるよう指導をします。
- ・全職員が共通理解をし、学年、学校体制で適切な支援を行います。また、支援員や校内適応指導教室を効果的に活用し、個別の支援を推進していきます。
- ・定期的な校内委員会、必要に応じたケース会議等を開くことによって、十分に細やかな対応を目指します。
- ・生徒こころのケア研修を行い、生徒理解に努めます。
- ・健康診断結果を振り返らせ、心身の自己管理を高めさせます。

- ・学習課題を正確に読み取る能力と、正しく伝え合う能力を高めます。
- ・主体的・対話的で深い学びの場を位置づけ、タブレットを活用した授業の充実を目指します。
- ・社会とのつながりを自覚させるため、各教科領域で外部人材を活用します。
- ・校外学習（1年）、野外活動と職業体験（2年）、修学旅行（3年）を通して学校外の「ひと・もの・こと」と関わらせませす。
- ・学校行事や、生徒会活動を通し、企画力・運営力・団結力を養います。

- ・外部から講師を招き、生き方講話を行います。
- ・「はままつづくり未来プラン」をもとに、キャリア教育を通し、社会性を身につける機会を設けます。
- ・考え議論する道徳授業を実践し、自分と異なる他者の存在について理解を深めます。
- ・3年間の学びを通して、地域をはじめ広く社会と自らの関わりについて考えさせます。
- ・自己課題を設定し、発達段階に併せて自ら選択した方法で発表します。

生徒の健全育成や教育活動を支える基盤

保護者・家庭との連携

- 校内美化ボランティア活動の推進
- 保護者アンケートによる教育活動の評価
- 各種たより、ブログによる学校の様子発信
- 三者面談（7月、12月、3月）による連携推進
- 随時の教育相談の充実

地域とともにある学校
湖東中学校運営協議会の運営
（湖東中コミュニティスクール）

地域との連携

- 健全育成会（自治会）活動の協力
- 和地、伊佐見地区コミュニティ協議会への協力
- 校区内幼・小・高との交流と連携
- 湖東スポーツ・文化クラブとの連携
- 地域人材との連携

いじめ防止対策の徹底

本校のいじめ対策基本方針に基づき、「保護者」「地域」「学校」で生徒を見守ります。